

引き続きインフルエンザに注意しましょう

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗3,012	2,812	百日咳	→ 1	1
RSウイルス感染症	↘ 37	47	ヘルパンギーナ	↘ 1	2
咽頭結核熱	↘ 14	22	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 64	65
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘ 67	84	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 655	570	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 27	32
水痘	↗ 17	14	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 4	0	無菌性髄膜炎	→ 2	2
伝染性紅斑(りんご病)	→ 71	71	マイコプラズマ肺炎	↗ 8	5
突発性発しん	↗ 28	26	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗ 15	8

インフルエンザ
 報告が多い感染症
 感染性胃腸炎
 伝染性紅斑

大きな流行が発生又は継続しつつある地域
インフルエンザ : 人吉、宇城、菊池、有明、八代、水俣、山鹿、天草、熊本市
感染性胃腸炎 : 八代、菊池、山鹿、有明
伝染性紅斑 : 宇城、菊池、熊本市、天草
流行性耳下腺炎: 山鹿

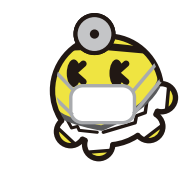
◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結核熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	814	15	3	38	161	9	1	26	10	1		9		22		2	4		12
山鹿保健所	106				39			2	1			8	*	*					
菊池保健所	390	1	6	8	109	4	2	12	5			20		4					
阿蘇保健所	73			1	8								*	*					
御船保健所	74			1	24	1		2					*	*					
八代保健所	288	2		4	96	1	1	1				4		1					
水俣保健所	109	1	3	1	39	1			1				*	*			3		1
人吉保健所	265	6		5	33			1	3				3	*	*				1
有明保健所	356	2	1	6	89	1		5	1			12					1		1
宇城保健所	293	4			24			18	3			6	*	*					
天草保健所	244	6	1	3	33			4	4		1	2							
計	3012	37	14	67	655	17	4	71	28	1	1	64	0	27	0	2	8	0	15

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
RSウイルス感染症	37	9	10	10	5	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0						
咽頭結核熱	14	0	1	3	3	0	1	1	3	0	1	0	0	0	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	67	0	0	2	2	5	11	8	7	7	5	4	14	1	1						
感染性胃腸炎	655	4	37	91	75	65	65	50	41	34	21	22	77	20	53						
水痘	17	0	2	3	0	1	7	2	1	0	1	0	0	0	0						
手足口病	4	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0						
伝染性紅斑	71	0	1	4	2	3	9	9	12	8	7	10	6	0	0						
突発性発しん	28	0	8	18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0						
ヘルパンギーナ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	64	0	0	6	10	9	16	8	7	2	3	2	1	0	0						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	27	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	5	7	5	1	4	0	0
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	8	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	15	2	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

引き続きインフルエンザに注意しましょう



2月29日~3月6日の県内のインフルエンザの報告数は、3,012件で、前週2月22日~2月28日の2,812件に比べ、報告数は14週連続で増加しています。保健所別では、人吉、宇城、菊池、有明、八代、水俣、山鹿、天草、熊本市が警報レベルとなっており、阿蘇、御船、は注意報レベルです。

県内の報告数は、増え方が緩やかになっていますが、流行のピークが長引いていますので、今後も引き続き警戒が必要です。感染拡大防止のため、外出からの帰宅後や食事の前には時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。また、マスクを着用するなど、咳エチケットに努めましょう。

インフルエンザの予防方法

1.時間をかけた丁寧な手洗い
 流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを洗い流す効果があるといわれています。ただし、洗いやすすぎが不十分だとウイルスを完全に除去することができません。20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗いましょ。さらに、手洗いの後に、アルコール消毒を行うとより効果的です。

2.咳エチケット
 咳やくしゃみは他の人に向けないようにしましょう。また、咳やくしゃみができる時は、できるだけマスクをつけましょう。特に、手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。マスクは、感染者がつけたほうが、感染予防効果は高いといわれています。

※熊本県のホームページ
 「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましょう」
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_13799.html